

令和 5 年 度

山形市立商業高等学校入学者選抜募集要項

山形市立商業高等学校
〒990-2481
山形市あかねヶ丘一丁目9番1号
電話 023(643)4115(代)
<https://www.yamagatacity-ch.ed.jp/>

I 設置課程・学科・入学定員

課 程	学 科	入学定員	計
全 日 制	総 合 ビ ジ ネ ス 科	160名	280名
	情 報 科	40名	
	経 済 科	80名	

それぞれの教育課程については、後に添える教育課程表を参照のこと。

II 推薦入学者選抜

1 志 願

(1) 志 願 資 格

令和5年3月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次のア～ウの条件をすべて満たし、合格した場合は入学が確約できる者とする。なお、全県1学区とし、志願は1人1学科とする。

ア 商業の専門的学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。

イ 当該学科に対する適性、興味及び関心を有すること。

ウ 本校が定める下記の1～3の出願要件をすべて満たしていること。

〈求める生徒像〉品行方正な生徒で、商業の専門的な学習に対する強い志望があり、学業と部活動の両立を図りながら学校生活にまじめに取り組むことができる生徒。

〈出願要件〉

1 キャリア形成に係る要件

商業の専門的な学習に対する強い志望があり、高校での学習を活かして自己の進路をめざすという目的意識が明確・適切である者

商業の基本的・基礎的な学びを踏まえて、特に

- ・総合ビジネス科は総合的なビジネス教育を通じ、専門的な知識や技能を身につけたい者
- ・情報科はビジネス場面に対応することのできるICT技能を身につけたい者
- ・経済科は高等教育機関の学習につなげられる広い教養を身につけたい者

2 成績評定概況に係る要件

評定合計が27以上の者

3 特別活動等に係る要件

体育的活動や文化的活動において以下のいずれかに該当し、入学後も意欲的に部活動に取り組む意志のある者

- ① 県大会以上の大会において、入賞や入選の実績をあげた者
- ② 地区大会において、3位以上の入賞や入選の実績をあげた者
- ③ ①②のような実績がなくとも、個人として優れた能力を有する者

1から3のすべての要件に該当する者

(2) 募 集 人 員

各学科の入学定員に対し、総合ビジネス科25％程度、情報科10％程度、経済科10％程度とする。

(3) 進 路 等 相 談

中学校長は、必要がある場合は、令和5年1月17日(火)17時までに、本校校長に健康及び身体状況について相談を行うことが望ましい。

(4) 出 願

① 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

ア 推薦入学願書(水色)

入学者選抜手数料として、現金2,200円を添えて提出する。

イ 自己推薦書

ウ 調査書

B 個別に必要な書類

ア 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が、その提出を認めたとき。

C その他の書類

ア 中学校長は、本校校長に、「評定概況」を1部提出する。

イ 「推薦入学者選抜志願者名簿」

② 書類の提出

上記①のA～Cは、送付文書を添え、在籍中学校長を経由して本校校長に提出する。なお、受付期間は、令和5年1月19日(木)から1月25日(水)12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする。出願に必要な書類を郵送する場合は簡易書留郵便とし、返信用切手404円分[郵送料84円及び簡易書留料金320円分](受検者2名以上8名以下の場合は返信用切手414円分)を貼った出願者本人の在籍中学校長あての受検票返信用の定形長3号封筒を同封する。なお、**入学者選抜手数料は別に現金書留で郵送する。**

③ 推薦入学者選抜に出願するに当たっては、中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできないものとする。

2 面 接

次の要領によって面接を実施する。

(1) 期 日 令和5年2月2日(木)

(2) 集 合 時 刻 9時までに各控室に入室を完了する。受検者の入り口は本校昇降口(正面玄関に向かって右側)とする。入口の開門は8時30分とする。
時間に変更がある場合には、受検票交付の際に、中学校を通して連絡する。

(3) 場 所 本校

(4) 形 態 個人面接とする。

(5) 評 価 の 観 点 ① 目的意識をしっかり持っている。

② 自己理解と向上心がある。

③ 所作、応対が優れている。

④ コミュニケーション能力がある。

(6) 評 価 の 段 階 A B C D E (5段階)

(7) 携 帯 品 受検票、上履き、下足入れ袋

3 選 抜

(1) 選抜は、調査書及び面接の結果を総合して行うものとする。

(2) 選抜規準は次の通りとする。

A：調査書学習の記録、B：調査書学習の記録以外、C：面接

A 20 : B 40 : C 40

(3) 選抜内定結果については、「推薦入学者選抜結果通知書」を中学校長あて親展扱いで、簡易書留郵便にて令和5年2月9日(木)必着で送付する。また、合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知

書」を送付するものとする。ただし、合格者の発表は令和5年3月17日(金)に行う。

4 志願変更の手続

推薦入学者選抜に漏れた者で、本校の一般入学者選抜を志願する者は、新たに「一般入学願書」を提出するとともに、先に交付された受検票を、中学校長を経由して本校校長あて提出し、新たに受検票の交付を受ける。入学者選抜手数料の納付は要しない。他の高等学校へ志願変更を希望する者は、先に交付された受検票を貼った「志願変更願」を、本校校長あて提出する。

5 そ の 他

出願に必要な書類は所定のものを使用する。ただし、「自己推薦書」の様式については、本校のホームページよりダウンロードできる。

Ⅲ 一般入学者選抜

1 志 願

(1) 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。なお、全県1学区とする。

① 令和5年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和5年度推薦入学者選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。

② 中学校を卒業した者。

③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

(2) 志 願 制 限

公立高等学校への志願は、1人1校とする。一般入学願書には、第1志望、第2志望、第3志望の学科名を記入する。第2志望又は第3志望がない場合は、「なし」と記入し、空欄にしない。

(3) 進 路 等 相 談

中学校長及び特別支援学校長は、入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、令和5年1月31日(火)17時までに本校校長に、健康及び身体状況、希望学科、進路希望等について相談を行うことができる。

(4) 出 願

① 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

ア 一般入学願書（白色）

入学者選抜手数料として、現金2,200円を添えて提出する。

イ 調査書

B 個別に必要な書類

ア 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が、その提出を認めたとき。

イ 学区外高等学校志願許可書

県教育委員会に「学区外高等学校志願許可願」を提出し許可を受けたとき。（県外から志願する者のみ）

ウ 推薦入学者選抜受検票

本校の推薦入学者選抜に漏れた者が、本校に志願するとき。

エ 推薦入学者選抜願書の写し又は連携型入学者選抜願書の写し

他校の推薦入学者選抜又は連携型入学者選抜に漏れた者が、本校を志願するとき。

オ 在籍高等学校長の志願承諾書

高等学校に在籍のまま志願するとき。

C その他の書類

ア 中学校長は、本校校長に、「評定概況」を1部提出する。

ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和3年度以前の卒業生からの志願者については、提出を要しない。

イ 「一般入学者選抜志願者名簿」

② 書類の提出

上記①のA～Cは、送付文書を添え、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出する。なお、受付期間は、令和5年2月15日(水)から2月21日(火)12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする。郵送する場合は簡易書留郵便とし、返信用切手404円分〔郵送料84円及び簡易書留料金320円分〕(受検者2名以上8名以下の場合は返信用切手414円分)を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あての受検票返信用の定形長3号封筒を同封する。なお、**入学者選抜手数料は別に現金書留で郵送する。**

③ 提出書類に関する留意点

ア 一般入学願書

取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行う。

イ 調査書、評定概況、自己申告書

推薦入学者選抜の志願にかかわって本校に提出済の場合は、提出を要しない。

2 学 力 検 査

(1) 検 査 教 科 国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科とする。

(2) 検 査 日 時 令和5年3月7日(火)

時 間	教 科 等
8:30	検査室入室完了
8:50～9:40	国 語
10:00～10:50	数 学
11:10～12:00	社 会
12:50～13:40	理 科
14:00～14:50 14:00から約10分間は リスニングテスト	外 国 語 (英 語)

(3) 検 査 会 場 本校

(4) 検査教科の配点 国語、社会、数学、理科、外国語（英語） 各100点

(5) 受検者の携帯品

① 受検者は、受検票のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、定規（三角・直定規のいずれでもよい）、コンパス、鉛筆削り

芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

② 下敷、分度器又は分度器のついた定規、公式や法則等の書いてある筆記用具、計算機能・英単語表示機能や通信機能等の付いた腕時計、携帯電話、スマートフォン等の電子機器類、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

③ 上履き、下足入れ袋、昼食を持参する。

(6) 受検上の注意

① 8時30分までに各検査室に入室を完了する。

② 受検者の入口は本校昇降口（正面玄関に向かって右側）とする。当日、検査室への入室方法等を掲示し、案内する。入口の開門は8時とする。

(1) 選抜の方法

① 選抜は、学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行う。

② 調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は3：7とする。

在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

なお、在籍又は出身中学校長は、令和5年3月3日(金)12時までに、国立諸学校への入学の諾否を本校校長に対して、文書によって報告するものとする。その際、合格した国立諸学校に入学する者については、本校の受検票を添付すること。

合格者の発表は、Webによる公開と、本校昇降口（正面玄関に向かって右側）において、令和5年3月17日（金）16時（予定）に受検番号の掲示によって行い、合格者へ「合格通知書」を送付する。ただし、Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに送付する。

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名「様」をつける）を記入の上、「簡易書留」、「親展」と朱書き[ゴム印可]し、返信用切手404円分[郵送料84円及び簡易書留料金320円分]を貼ったものを提出する。



(返信用封筒記入例)

(1) 对象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、３月７日実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、学力検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。

② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍中学校長に連絡する。

イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

① 学力検査について 内容は上記「2 学力検査」に準ずる。

② 検査日時 令和5年3月12日(日) 時間は本検査に同じ

③ 検査会場 本校

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

IV 本校の概要

- 1 位 置 山形市あかねヶ丘一丁目9番1号 山形駅から西方へ徒歩で約25分。
- 2 沿 革

大正7年市立山形商業学校として創立、昭和26年旧市立山形女子商業高等学校と統合し山形市立商業高等学校として現在にいたる。令和4年度より、学科改編並びに新校舎共用開始。

3 教 育 目 標

校訓「輸誠」(誠をいたす)を根本精神として、真理と正義を愛するとともに、人間性を尊重し、勤労と責任を重んじ、心身ともに健全で、よく他からの信頼に応え、「いのち」を大切にする人間の育成を期す。

特に、本校は、普通教育及び商業に関する高度な専門教育を施す上において、次のような人財の育成に努める。

- (1) 豊かな情操と徳性を備え、自主的に行動する気概ある人
- (2) 信義を重んじ、「先事後得(せんじこうとく)」の精神に徹する人
- (3) 一般教養と専門的知識・技能を兼備し、生涯にわたって学び続ける人
- (4) 国際的視野を備え、協調性に富み、進取の精神を持って時代の変化に柔軟に対応できる人

V 入学に関わる参考事項

1 合格者オリエンテーション

- (1) 日 時 令和5年3月27日(月) 午後
- (2) 場 所 本校体育館
- (3) そ の 他 詳細については合格者へ通知する。

2 入 学 式

- (1) 日 時 令和5年4月8日(土) 午後(予定)
- (2) 場 所 本校体育館

3 所要経費(令和4年度入学者実績)

- (1) 入学料 5,650円(山形市へ納入)
- (2) 授業料 118,800円(年額)

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。詳しくは合格通知書類に同封する書類をご覧ください。

- (3) 入学一時金(生徒会入会金、PTA入会金、教育後援会協力費、高体連及び高文連負担金、教材、その他)
○総合ビジネス科 54,665円 ○情報科 57,942円 ○経済科 52,905円
- (4) 教科書代
○総合ビジネス科 28,184円 ○情報科 29,388円 ○経済科 34,503円
- (5) 制服(冬用・夏用)代
○男子 51,480円 ○女子 64,317円
- (6) 毎月の徴収金【PTA会費(650円)、生徒会費(1,500円)、図書費(120円)、教育後援会費(1,300円)、進路指導費(100円)、修学旅行積立金(総合ビジネス科・経済科 6,000円)】
○総合ビジネス科・経済科 9,670円
- (7) 一括集金【PTA総会(4月末頃)後に集金、検定料金・模擬試験料等】
○総合ビジネス科 8,200円 ○情報科 11,200円 ○経済科 20,320円

令和5年度は全員に本校指定のタブレット型パソコンを購入していただきます。
金額は¥130,000～¥140,000程度

VI そ の 他

以上のほか、実施上必要な事項は「令和５年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」及び「令和５年度山形市立商業高等学校入学者選抜実施要項」による。

「震災による福島県等からの山形市立商業高等学校への受検に係る実施要項」等は別に配布する。

令和5年度入学者 教育課程表(1)

課 程		全 日 制	学 科	総合ビジネス科	校 長	小 林 勝 喜
教 科	科 目	標準単位数 (必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)	年次別単位数			
			1年次	2年次	3年次	計
国 語	現 代 の 国 語	2	◎	2		2
	言 語 文 化	2	◎	2		2
	論 理 国 語	4		2	3	5
	文 学 国 語	4		□3	▼4	0・3・4
地 理 歴 史	古 典 探 究	4		□3	▼4	0・3・4
	地 理 総 合	2	◎	2		2
	地 理 探 究	3			▼4	0・4
	歴 史 総 合	2	◎	2		2
公 民	日 本 史 探 究	3			▼4	0・4
	公 共 共 同	2	◎	2		2
数 学	政 治 ・ 経 済	2			2	2
	数 学 I	3	◎	3		3
理 科	数 学 II	4			▼4	0・4
	数 学 A	2		2		2
保 健 体 育	科 学 と 人 間 生 活	2	◎	2		2
	生 物 基 礎	2			■3	0・3
芸 術	地 学 基 礎	2	◎		2	2
	体 育 基 礎	7～8	◎	2	2	7
外 国 語	保 健	2	◎	1	1	2
	音 楽 I	2	○		2	0・2
家 庭 情 報	美 術 I	2	○		2	0・2
	書 道 I	2	○		2	0・2
共 通 教 科 ・ 科 目 単 位 数 合 計	英 語 コミュニケーション I	3	◎	3		3
	英 語 コミュニケーション II	4		3	3	6
商 業	論 理 ・ 表 現 I	2		2		2
	論 理 ・ 表 現 II	2		□3	■3	0・3
専 門 教 科 ・ 科 目 単 位 数 合 計	論 理 ・ 表 現 III	2			■3	0・3
	ビ ジ ネ ス 英 語 I	—	●	□3	▼4	0・3・4
特 別 活 動	ビ ジ ネ ス 英 語 II	—	●		■3	0・3
	家 庭 基 礎	2	◎	2		2
合 計	情 報 情 報 I	2	◎	(4)		(4)
	情 報					
学 校 行 事	ビ ジ ネ ス 基 礎	2～4		2		2
	課 題 研 究	2～4	◎		3	3
授 業 の 1 単 位 時 間	総 合 実 践	2～4			2	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ	2～4		□3	■3	0・3
学 校 設 定 科 目	商 品 開 発 と 流 通	2～4			◇2	0・2
	観 光 ビ ジ ネ ス	2～4			◇2	0・2
学 校 設 定 科 目	ビ ジ ネ ス ・ マ ネ ジ メ ン ト	2～4		□3	■3	0・3
	グ ロ ー バ ル 経 済	2～4			◇2	0・2
学 校 設 定 科 目	ビ ジ ネ ス 法 規	2～4			◇2	0・2
	簿 記	2～6		4		4
学 校 設 定 科 目	財 務 会 計 I	2～4		2	2	4
	財 務 会 計 II	2～4		3	■3	3・6
学 校 設 定 科 目	原 価 計 算	2～4		3		3
	管 理 会 計	2～4			◇2	0・2
学 校 設 定 科 目	情 報 処 理	2～6	◎	4		4
	ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	2～4		□3	■3	0・3
学 校 設 定 科 目	文 書 処 理 技 術	—	●	□3	■3	0・3
	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	—	●		◇2	0・2
学 校 設 定 科 目	フ ォ ー ド デ ザ イ ン	2～6			■3	0・3
	合 計	3～6	◎	29	29	87
学 校 設 定 科 目	卒 業 ま で に 修 得 す べ き 単 位 数			74		
	ホ ー ム ル ー ム 活 動			1	1	3
学 校 設 定 科 目	生 徒 会 活 動 (時 間)			24	24	72
	学 校 行 事 (時 間)			52	76	176
学 校 設 定 科 目	授 業 の 1 単 位 時 間			50分		
	学 校 設 定 科 目			50分		

学校設定科目 「プレゼンテーション」平成25年度開設
「ビジネス英語 I」令和5年度開設・「ビジネス英語 II」令和6年度開設
「文書処理技術」令和5年度開設

令和5年度入学者 教育課程表(2)

課 程		全 日 制		学 科		情 報 科		校 長		小 林 勝 喜	
教 科	科 目	標準単位数 (必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)	年次別単位数				備 考				
			1年次	2年次	3年次	計					
国 語	現代の国語	2	◎	2			2	芸術 それぞれ○から1科目選択して履修			
	言語文化	2	◎	2			2				
	論理国語	4			2	3	5				
	文学国語	4				▼4	0・4				
	古典探究	4				▼4	0・4				
地理歴史	地理総合	2	◎	2			2	3年次 ▼から1科目(選択B)、 ■から1科目(選択C)、 ◇から1科目(選択D)選択して履修			
	地理探究	3				▼4	0・4				
	歴史総合	2	◎		2		2				
	日本史探究	3				▼4	0・4				
公 民	公民	2	◎		2		2				
	政治・経済	2				■3	0・3				
数 学	数学Ⅰ	3	◎	3			3				
	数学Ⅱ	4				▼4	0・4				
	数学A	2			2		2				
理 科	科学と人間生活	2	◎		2		2				
	生物基礎	2				■3	0・3				
	地学基礎	2				2	2				
保健体育	体育	7～8	◎	2	2		3	7			
	保健	2	◎	1	1			2			
芸 術	音楽Ⅰ	2	○			2	┐	0・2			
	美術Ⅰ	2	○			2	┐	0・2			
	書道Ⅰ	2	○			2	┐	0・2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3				3			
	英語コミュニケーションⅡ	4			3	3		6			
	論理・表現Ⅰ	2		2				2			
	論理・表現Ⅱ	2				■3	0・3				
	ビジネス英語Ⅰ	—	●			▼4	0・4				
家庭情報	家庭基礎	2	◎		2			2			
	情報Ⅰ	2	◎	(3)				(3)			
共通教科・科目単位数合計				17	18	17～20	52～55				
商 業	ビジネス基礎	2～4		2			2	情報 「情報Ⅰ」は専門教科商業 「情報処理」で代替(1年次3単位) 総合的な探究の時間 「総合的な探究の時間」は専門 教科商業「課題研究」で代替 (3年次3単位)			
	課題研究	2～4	◎			3	3				
	マーケティング	2～4				■3	0・3				
	商品開発と流通	2～4				◇2	0・2				
	観光ビジネス	2～4				◇2	0・2				
	ビジネス・マネジメント	2～4				■3	0・3				
	グローバル経済	2～4				◇2	0・2				
	ビジネス法規	2～4				◇2	0・2				
	簿記	2～6		4			4				
	財務会計Ⅰ	2～4			3		3				
	財務会計Ⅱ	2～4				■3	0・3				
	原価計算	2～4			3		3				
	情報処理	2～6	◎	3			3				
	ソフトウェア活用	2～4			3		3				
	プログラミング	2～4			3	2	5				
	ネットワーク活用	2～4					4		4		
家庭	文書処理技術	—	●			■3	0・3				
	プレゼンテーション	—	●			◇2	0・2				
	フードデザイン	2～6				■3	0・3				
専門教科・科目単位数合計				12	11	9～12	32～35				
総合的な探究の時間				3～6	◎	(3)	(3)				
合 計				29	29	29	87				
卒業までに修得すべき単位数				74							
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週月曜日6校時			
	生徒会活動(時間)			24	24	24	72	対面式、新入生歓迎会、部紹介、生徒総会(前期・後期)、議案書審議、校歌応援歌練習、壮行式、山商祭、立会演説会 等			
				52	76	48	176				
	学校行事(時間)			新任式、入学式、始業式・終業式(1・2・3学期)、身体測定、クラスマッチ、ブックトーク、避難訓練、校内駅伝大会、演劇教室、創立記念式、修学旅行、卒業式、離任式 等							
授業の1単位時間				50分							
学校設定科目				「プレゼンテーション」平成25年度開設 「ビジネス英語Ⅰ」令和5年度開設 「文書処理技術」令和5年度開設							

芸術
それぞれ○から1科目選択して履修

3年次
▼から1科目(選択B)、
■から1科目(選択C)、
◇から1科目(選択D)選択して履修

情報
「情報 I」は専門教科商業
「情報処理」で代替(1年次3単位)

総合的な探究の時間
「総合的な探究の時間」は専門
教科商業「課題研究」で代替
(3年次3単位)

令和5年度入学者 教育課程表(3)

課 程		全 日 制	学 科	経 済 科	校 長	小 林 勝 喜
教 科	科 目	標準単位数	年次別単位数			
			1年次	2年次	3年次	計
国 語	現 代 の 国 語	2 ◎	2			2
	言 語 文 化	2 ◎	3			3
	論 理 国 語	4		2	3	5
	古 典 探 究	4		2	2	4
地理歴史	地 理 総 合	2 ◎	2			2
	歴 史 総 合	2 ◎	2			2
公 民	公 共 共 同	2 ◎		2		2
	政 治 ・ 経 済	2			3	3
数 学	数 学 I	3 ◎	3			3
	数 学 II	4		2	2	4
理 科	科学と人間生活	2 ◎		2		2
	生 物 基 礎	2 ○			3	0・3
	地 学 基 礎	2 ○			3	0・3
保健体育	体 育	7～8 ◎	2	2	3	7
	保 健	2 ◎	1	1		2
芸 術	音 楽 I	2 ○			2	0・2
	美 術 I	2 ○			2	0・2
	書 道 I	2 ○			2	0・2
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3 ◎	3			3
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	英語コミュニケーションⅢ	4			4	4
	論 理 ・ 表 現 I	2	2			2
	論 理 ・ 表 現 II	2		2		2
	論 理 ・ 表 現 III	2			2	2
家 庭	家 庭 基 礎	2 ◎		2		2
情 報	情 報 I	2 ◎	(2)			(2)
共 通 教 科 ・ 科 目 単 位 数 合 計			20	21	24	65
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2～4	2			2
	課 題 研 究	2～4 ◎			3	3
	商 品 開 発 と 流 通	2～4			◇2	0・2
	観 光 ビ ジ ネ ス	2～4			◇2	0・2
	グ ロー バ ル 経 済	2～4			◇2	0・2
	ビ ジ ネ ス 法 規	2～4			◇2	0・2
	簿 記	2～6	3			3
	財 務 会 計 I	2～4	2	2		4
	財 務 会 計 II	2～4		3	◇2	3・5
	原 価 計 算	2～4		3		3
	管 理 会 計	2～4			◇2	0・2
	情 報 処 理	2～6 ◎	2			2
専 門 教 科 ・ 科 目 単 位 数 合 計	ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	2～4			◇2	0・2
	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	— ●			◇2	0・2
専 門 教 科 ・ 科 目 単 位 数 合 計			9	8	5	22
総 合 的 な 探 究 の 時 間					(3)	(3)
合 計			29	29	29	87
卒 業 ま で に 修 得 す べ き 単 位 数			74			
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1	1	1	3
	生 徒 会 活 動 (時 間)		24	24	24	72
	学 校 行 事 (時 間)		52	76	48	176
	授 業 の 1 単 位 時 間		50分			

学校設定科目 「プレゼンテーション」平成25年度開設